

Bcpos Graphical Handbook



BCPOS→PCA会計連携

—目次—

BCPOS 会計連携プログラムのデータ送信方法について	2
BCPOS 会計連携プログラムのインストール	3
PCA会計の連携設定をする	3
勘定科目・補助科目の紐付けの流れ	6
PCA会計で勘定科目・補助科目のCSV出力をする	6
BCPOS 会計連携プログラムで勘定科目・補助科目のCSVを取り込む	7
BCPOS 会計連携プログラムで勘定科目・補助科目を紐付けする	9
BCPOS 会計連携プログラムのバックアップ	10
BCPOS側の設定TenpoVisor使用「しない」の場合	12
会計連携プログラム データ連携の実行	14
〈参考資料〉	
■PCA会計DX システム構成の例(ローカル・オンプレミス)	16
■PCA会計DX システム構成の例(クラウド)	17

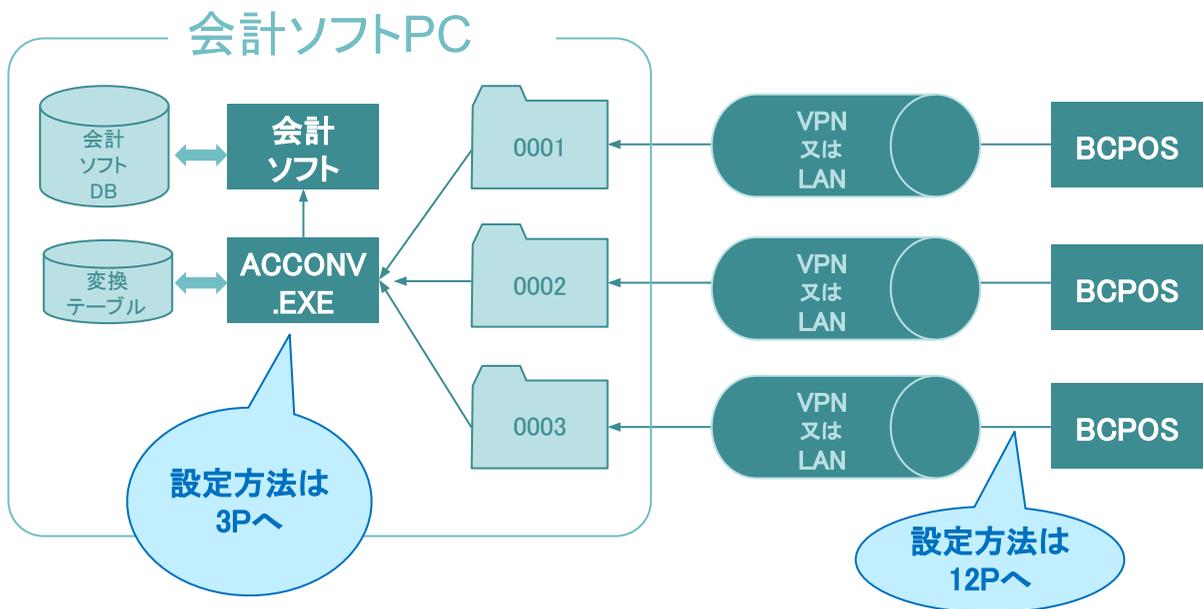
BCPOS 会計連携プログラムのデータ送信方法について

ここでは、POSのデータを会計ソフトまで送信するルートについて解説しています。

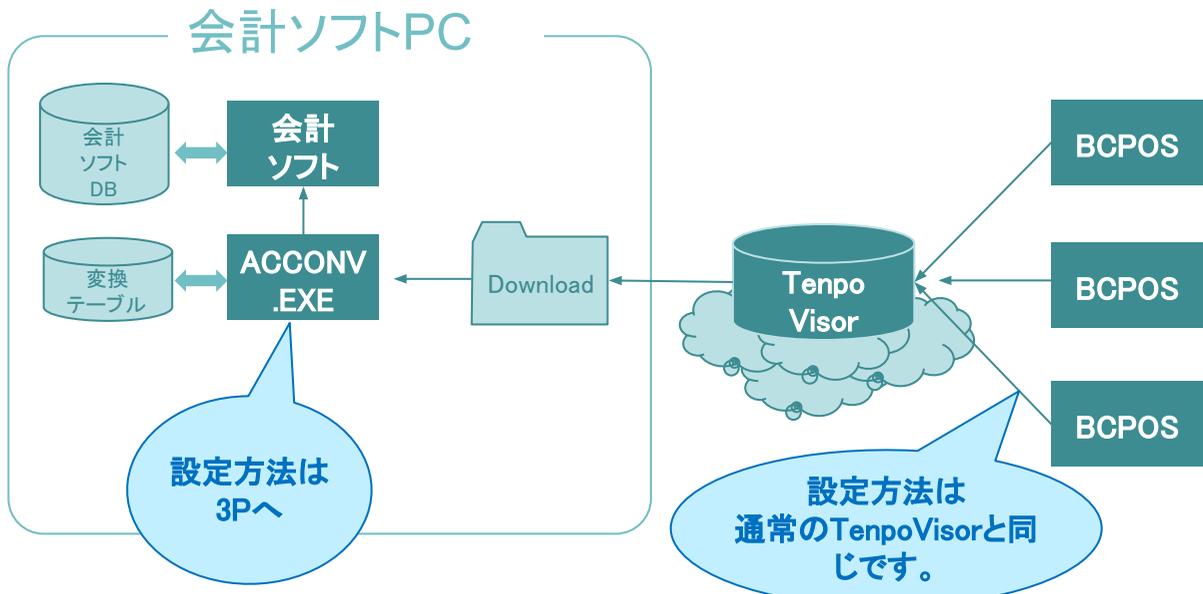
会計ソフトへのデータ通信については、大きくわけて2種類があります。LAN又はVPNを使ったWAN回線などを使い会計ソフトの指定フォルダへデータを送り込む方法。弊社クラウド本部管理システムTenpoVisorを経由して、TenpoVisorから会計ソフトに送信する方法です。両者、CSV形式の明細ファイルを送信し、最終的な会計ソフトでの取込は、ClientAPIとしてPCA会計へ取込がされます。

以下設定方法は異なりますので該当のページで設定方法を確認してください

■ TenpoVisor使用 「しない」の設定 構成図



■ TenpoVisor使用 「する」の設定 構成図



BCPOS 会計連携プログラムのインストール

本項目では、PCA会計連携プログラムのインストール方法を案内します。

プログラムの配置場所については、サポートを円滑に行うため、本マニュアルに記載するデフォルト値を推奨します。但し、その限りではありません。
 特例の配置をご希望の場合、弊社カスタマセンター又は、営業にご相談願います。

1-PCA会計がインストールしてあるPCにBCPOSのインストールをしてください。

2-会計連携プログラムのインストーラー「AC.EXE」をデスクトップなどにコピーしてします。

その後、ダブルクリックをしてインストールを行ってください。インストールが完了すると、「インストール完了」のダイアログが開きますので「OK」を押します。

3-インストールが完了すると、以下2つのショートカットが作成されます。

会計連携 :会計連携実行プログラム

会計連携設定:会計連携を行うための設定画面

会計連携プログラムのディレクトリ

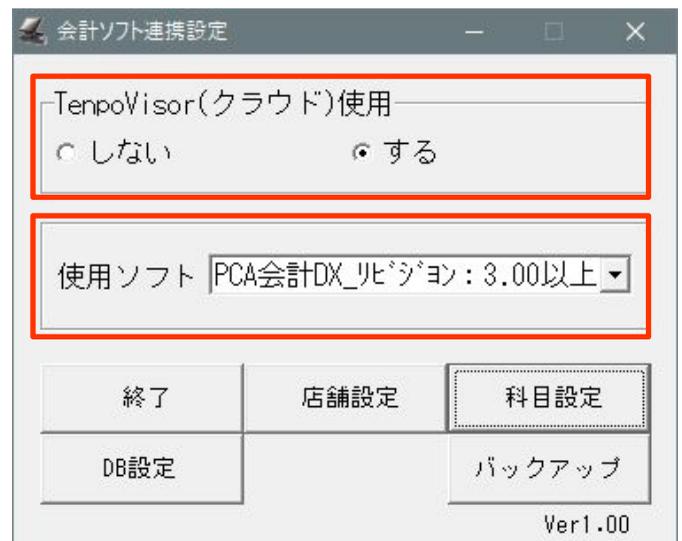


PCA会計の連携設定をする

設定の方法を案内します。

1-デスクトップに配置した「会計連携設定」をダブルクリックします。会計ソフト連携設定が起動します。

TenpoVisor使用:	
する	TenpoVisorから明細データを取得して会計連携をする場合
しない	BCPOSのからLAN又はVPNによるWANで直接、会計連携をする場合。
「使用ソフト」:	
ご使用している会計ソフトを選択願います。	

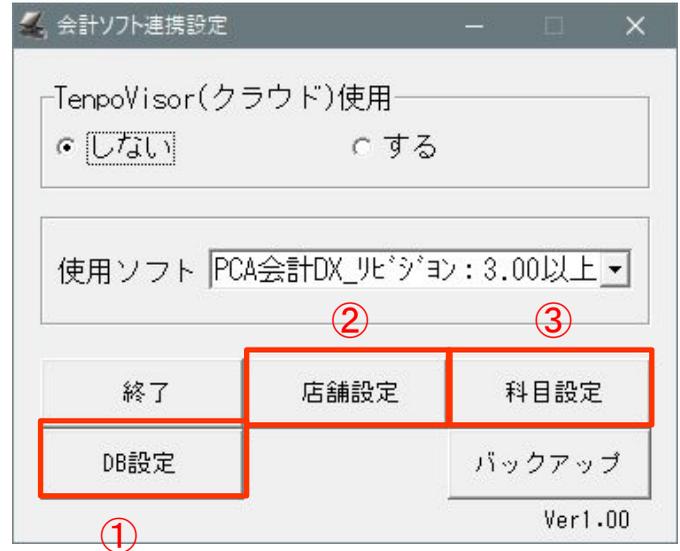


※選択すると自動的に記録されます。

3-「会計連携設定」の画面から「店舗設定」「科目設定」「DB設定」を設定していきます。

但し、設定の順番は、以下の通りに行います。

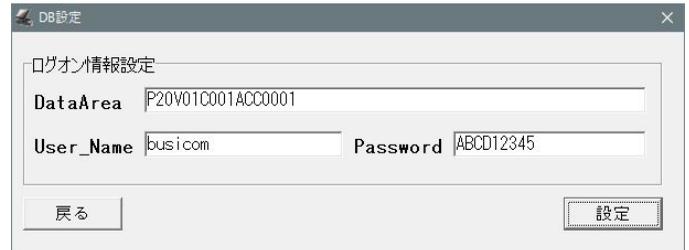
「DB設定」>「店舗設定」>「科目設定」



4-「DB設定」を設定する

会計ソフトどのデータ領域と連携を行うか設定をします。

ログオン情報設定:	
DataArea	PCA会計のデータ領域につけられた名前を入力します。
User_Name	PCA会計登録されたユーザー名を指定します。連携時は、そのユーザーが操作した履歴が残ります。
Password	User_Nameで設定したユーザー名に対してのパスワードを記入します。



設定が完了したら「設定」ボタンを押して記録させます。



参考

DataAreaはPCA会計では、右記の場所に記載されております。



5-「店舗設定」の設定について

BCPOSの店舗コードと、会計ソフトの部門(事業部門)の紐付けを行います。

Insertキーを押す、下矢印キーを押すで行が増えます。

店舗設定:	
店舗コード	BCPOSの店舗コードを指定します。
会計部門コード	会計ソフトの部門コードを紐付けします。
最終伝票日付	会計ソフトに取込まれた最終の伝票日付が表示されます。
最終伝票No	会計ソフトに取込まれた最終の伝票Noが表示されます。

紐付けが完了したら「戻る」を押します。



※BCPOS/TenpoVisorから出力された明細データが、店舗設定の伝票最終日付・最終伝票Noより過去の伝票は、会計ソフトへ取込まれないようになっています。

※トラブルシューティングなどで、明細データの再取り込みをする場合、伝票最終日付・最終伝票Noを手入力します。

6-「科目設定」の設定について

項目(=BCPOS項目)に合わせて、会計ソフトの勘定科目と補助科目の紐付けができます。

売上・入金・仕入毎タブ分けがされており、各 勘定科目コード・補助科目コードの指定が可能です。

設定が完了したら、「設定」ボタンを押して記録させます。

※詳細な、勘定科目・補助科目の紐付け方法は、次ページより紹介します。

紐付けが完了したら「戻る」を押します。



勘定科目・補助科目の紐付けの流れ

PAC会計とBCPOSを連携させるには、勘定科目と補助科目の紐付けが必要です、以下の流れで紐付けをおこないます。

①PCA会計にて【勘定科目】【補助科目】の登録と編集を行う

※本項目については、PCA会計のマニュアルをご確認願います

②PCA会計で勘定科目・補助科目のCSV出力をする

③BCPOS 会計連携プログラムで勘定科目・補助科目のCSVを取り込む

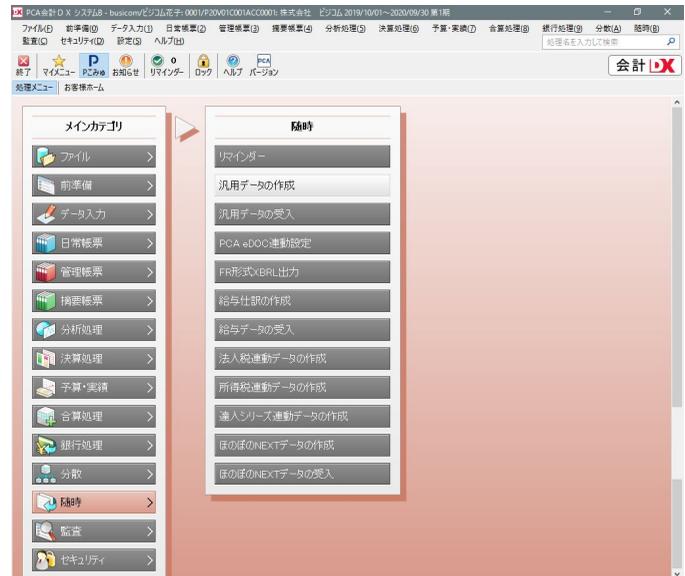
④BCPOS 会計連携プログラムで勘定科目・補助科目を紐付けする

PCA会計で勘定科目・補助科目のCSV出力をする

PAC会計では、勘定科目をCSVファイルで出力ができます。参考としてマニュアルに記載します。

1-PCA会計を起動させて、メインカテゴリより、「随時」ボタンを押します。

「汎用データの作成」ボタンを押します。



2-以下のように指定します。

区切り文字: 1:カンマ区切り(CSV形式)

出力先フォルダ: ▼ボタンを押して任意のフォルダ指定

ファイル名: 任意の名前を記入してください。

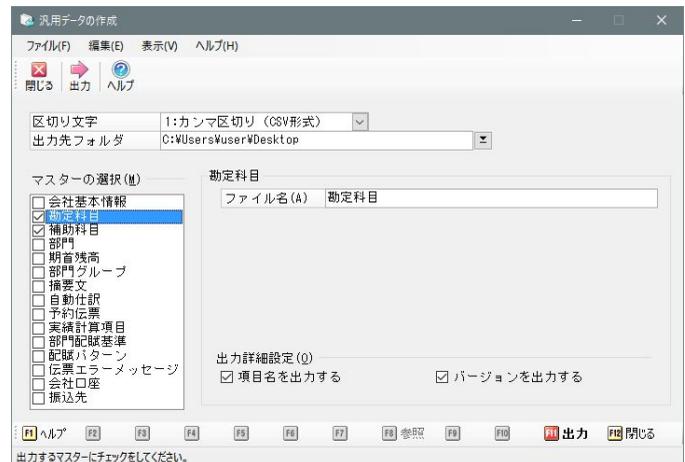
マスター選択: 勘定科目・補助科目 を選択してください。

※2つ選択した場合は、勘定科目・補助科目の2つのテキストファイルが作成されます。

出力詳細設定

項目名を出力: チェックを入れる

バージョンを出力する: チェックを入れる



「F11 出力」を押して勘定科目のCSVファイルを出力します。

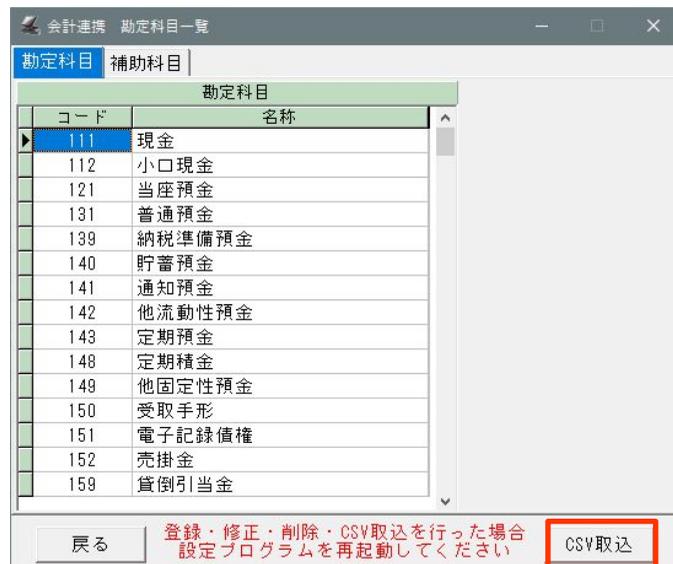
BCPOS 会計連携プログラムで 勘定科目・補助科目のCSVを取り込む

PCA会計とBCPOSの同期を取るため、PCA会計の勘定科目・補助科目CSVを取込します。

1-会計連携設定 を起動させ、「科目設定」を開きます。次に「科目」ボタンを押します。



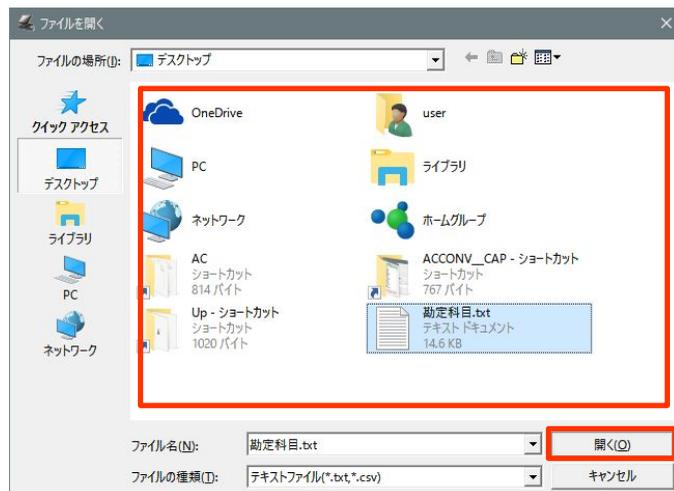
2-「CSV取込」ボタンを押します。



3-取込ファイルを「勘定科目」「補助科目」から選択し「参照」ボタンを押します。



4-会計ソフトから出力した「勘定科目」(又は補助科目)のCSVファイルを選択し、「開く」を押します。



5-ヘッダの「なし」「あり」を選択します。

会計ソフトでのテキスト吐き出しで、「項目」をつけている場合は、「あり」を選択してください。

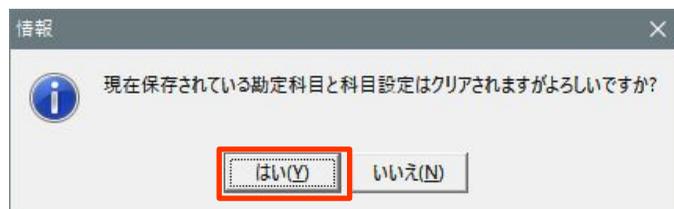
選択後、「実行」を押します。

※バージョン情報の吐き出しをされている場合は、バージョン情報と項目をスキップして3行目からCSVデータの取込を行います。



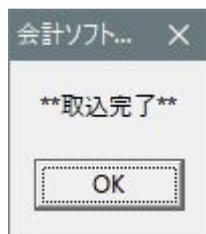
6-現在の設定がクリアされます。

問題がなければ、「はい」を選択します。



7-勘定科目のCSVデータが取込されます。

取込が完了したら、「OK」を押します。



8-会計連携プログラムの変換テーブルが更新されました。

PCA会計の勘定科目と、補助科目を両方取込してください。

9-「戻る」→「戻る」を押し、科目設定の画面に戻ります。

BCPOS 会計連携プログラムで 勘定科目・補助科目を紐付けする

PCA会計とBCPOSの紐付けを行います。

項目(=BCPOS項目)に合わせて、会計ソフトの勘定科目と補助科目の紐付けします。

売上・入金・仕入毎にタブ分けがされています。

各、勘定科目コード・補助科目コードの指定を行います。

※注意:

PCA会計の仕様上、以下の勘定科目には補助科目を設定できません。

- 【 勘定科目 】・仮払消費税等
- ・仮受消費税等
 - ・繰越利益剰余金
 - ・諸口

設定が完了したら、「設定」ボタンを押し記録させます。

紐付けが完了したら「戻る」を押し設定を完了させます。

以上の設定により、会計連携の設定が完了します。

	項目	勘定項目	補助項目
借方	現金売上	111 現金	1 POS入力
	カード売上	152 売掛金	1 POS入力
	掛売上	152 売掛金	1 POS入力
貸方	一般商品(売上)	511 売上高	1 POS入力
	一般商品(返品)	521 売上値引戻り高	1 POS入力
	非課税商品	517 非課税売上高	1 POS入力
	仮受消費税	335 仮受消費税等	

BCPOS 会計連携プログラムの バックアップ

PCA会計連携プログラムの設定(店舗設定・科目設定・DB設定など)をバックアップすることが可能です。

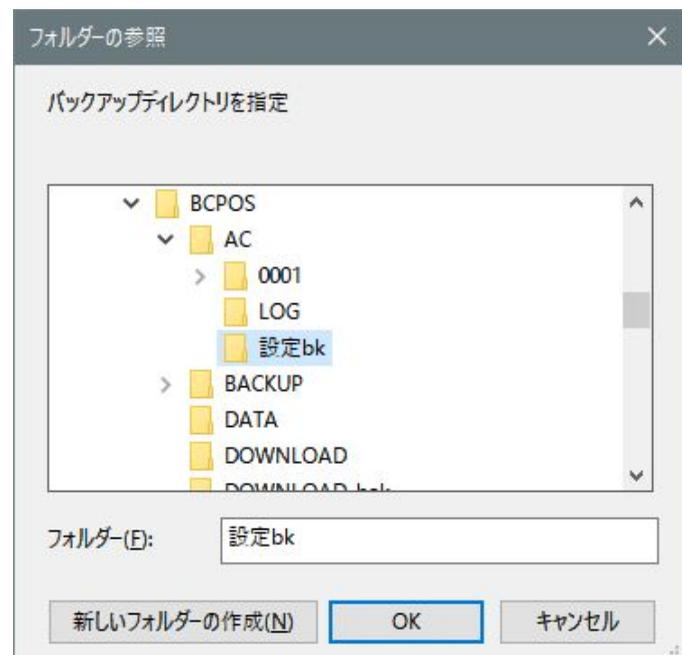
1-「バックアップ」ボタンを押します。



2-「…」ボタンを押してバックアップ先のフォルダを指定します。



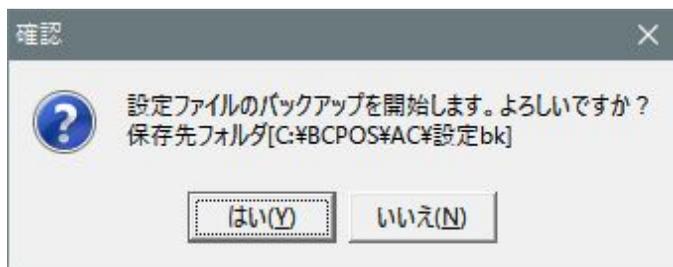
3-バックアップ先のフォルダを指定、または新しいフォルダを作成して、「OK」を押します。



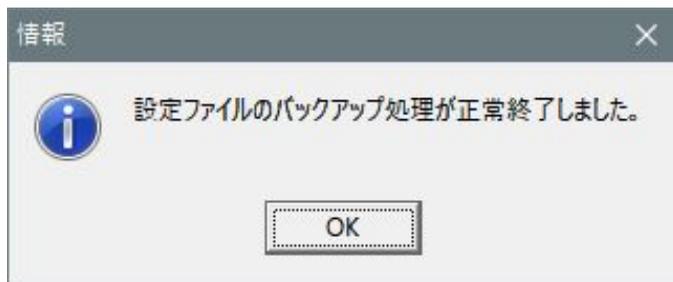
4-「実行」ボタンを押します。



5-「はい」ボタンを押します。



5-バックアップが完了したら、「OK」を押します。



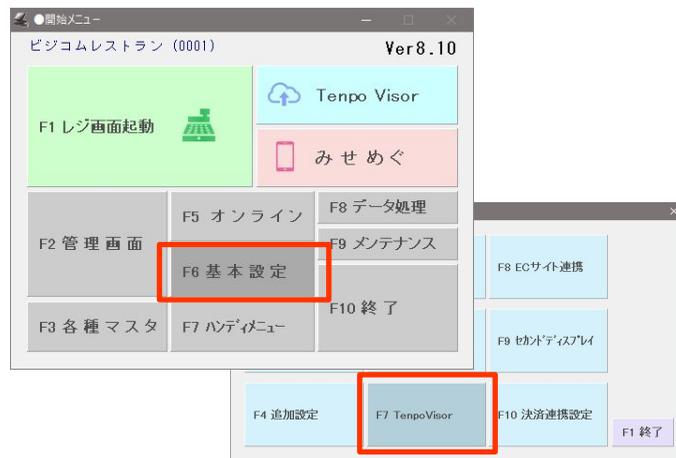
BCPOS側の設定 TenpoVisor使用「しない」の場合

TenpoVisorを経由させないで、会計連携を行う場合のBCPOS側の設定を案内します。

1-BCPOSをTenpoVisorに接続させる際の設定をします。
右記のダウンロードとインストールをします。
※転送プログラム基本設定は全て0のままで結構です。



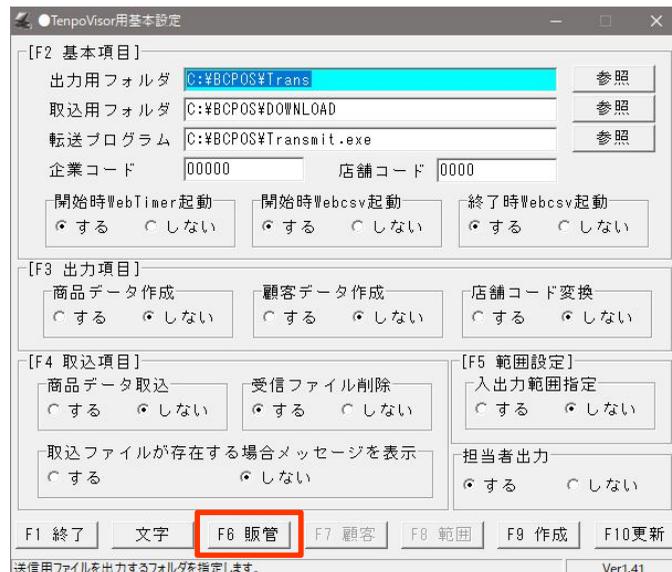
2-BCPOS 開始メニューから
「F6基本設定」>「TenpoVisor」を選択します。



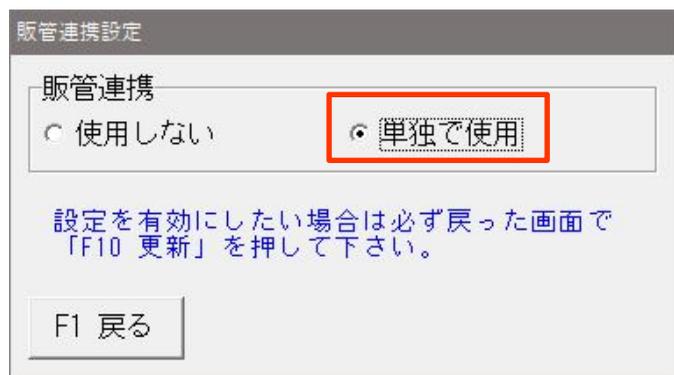
3-「F4 基本設定」を選択します。



4-TenpoVisor用基本設定画面が開きます。
「F6 販管」を押します。



5-「単独で使用」を選択します。
選択後、「戻る」を押します。

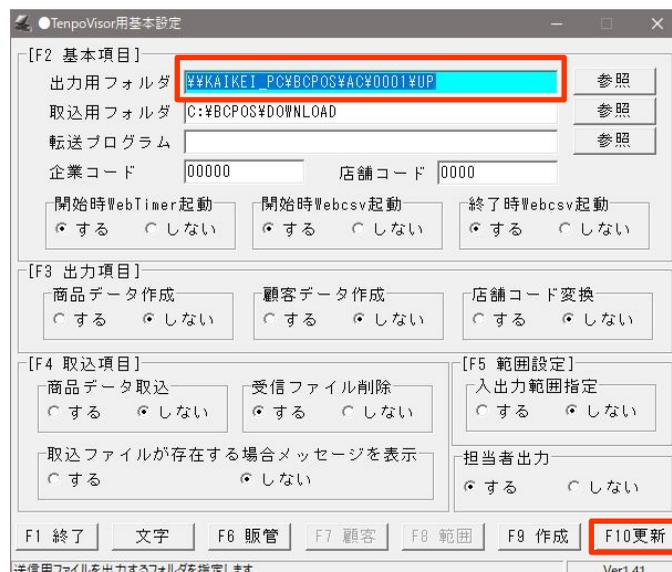


6-各種設定を行います。

出力用フォルダ:
¥<サーバー名>¥BCPOS¥AC¥<店舗コード>¥UP

転送プログラム:空白にします。
開始時のWebTimer:する
開始時のWebcsv :する
終了時Webcsv起動:する

7-「F10更新」を押します。
以上で、BCPOS側の設定が完了します。
1時間単位で、会計ソフトのPCヘデータが自動送信されます。



会計連携プログラム データ連携の実行

会計ソフトへの連携の運用方法を案内します。

BCPOS側の設定により、
C:\¥BCPOS¥AC¥<各店舗コード>¥UPに売上ファイルが届いている
前提で、以下の操作を行います。

1-会計ソフトに設置された、「会計連携」のショートカットをダブルク
リックします。



2-会計連携の画面が表示されます。
「F10 連携」ボタンを押します。



3-会計ソフトに連携の結果が表示されます。
データ連携が終わったら、「終了」ボタンをおします。



Bcpo Graphical Handbook

PCA会計のシステム概要(参考資料)



■PCA会計DX システム構成の例 (ローカル・オンプレミス)

以下、PCA会計の「ローカル」「オンプレミス」のシステム構成を案内していきます。

■スタンドアロン【1台構成】

1台のパソコンにPCA会計をインストールしてご利用されるライセンスです。



■イージーネットワーク【LAN 2台構成】

2台のパソコンにPCA会計をインストールしてご利用されるライセンスです。2台のうち1台は親機としてデータベースを保有します。

Microsoft SQL Serverの購入は必要ありません。

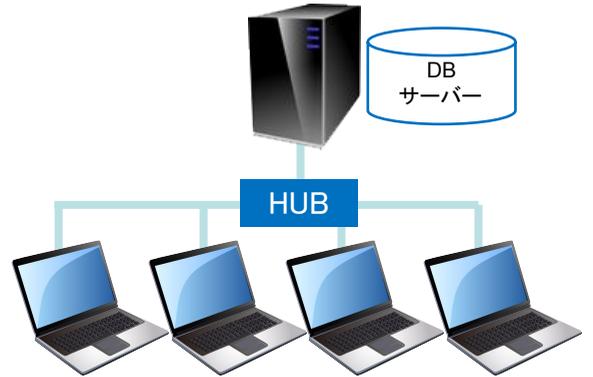


■ネットワーク版【LAN 1拠点複数台構成】

Windows ServerにMicrosoft SQL Serverのライセンスをインストールし、各クライアント ライセンスの台数にPCA会計をインストールしてご利用します。

インストールに対して、ライセンス費用が発生します。

■ネットワーク版【LAN 1拠点複数台構成】



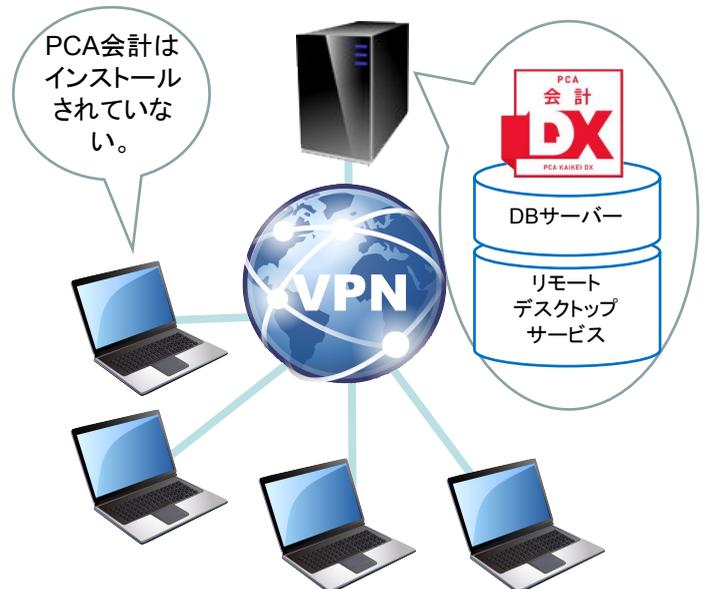
■ネットワーク版【オンプレミス 多拠点複数台構成】

Windows ServerにMicrosoft SQL ServerのライセンスとPCA会計をインストールします。

Wanの場合は、Windows Serverがユーザー毎に生成するデスクトップの画面をVPNを介してリモートデスクトップで運用していきます。

ですので、クライアント側には、PCA会計のプログラムはインストールされておらずリモートデスクトップを通して、Windows Serverの画面を操作する構成になります。

■ネットワーク版 【オンプレミス 多拠点複数台構成】



何故、このような構成にするか？

遠隔地からVPNを介して、直接DB接続を行うことは可能ですが、通信速度が低い時に、DBの書き込みを行うとDB破壊してしまうリスクがあります。

そのため、基幹ソフト全般は、Windows Serverのリモートデスクトップ機能を使い、リモートデスクトップ越しに本部のWindows Serverの商魂を動かす構成をとります。

BCPOS連動時の注意点

WAN版は、クライアントにPCA会計がインストールされていません。

WAN版では、CSV・API連携を行う場合、PCA会計がインストールされている Windows ServerへCSV出力したり、API連携プログラムを配置する必要があります。

PCA会計は、WindowsサーバOSが生成する
リモートデスクトップ画面を操作します。

■PCA会計DX システム構成の例 (クラウド)

以下、PCA会計の「クラウド」のシステム構成を案内していきます。

クラウドとは、企業などが情報システムの設備(ハードウェア)を自社で保有せず、ソフトウェア会社がサーバ設備用意してインターネットを介してシステムを活用するサービスをさします。

■PCA会計クラウド ライセンス

PCA会計クラウド版は、パソコンにPCA会計をインストールし、PCA社の管理するDBサーバーへ接続して利用します。PCA会計WAN版と違いパソコンにPCA会計のプログラムはインストールされている状態です。

なお、PCA会計のクラウド版は、DBサーバへ同時に何台接続をするかライセンスが変わってきます。

そのため、3ライセンス契約で、30台のパソコンにPCA会計クラウド版をインストールしておいても、同時接続は3台のみであれば、問題なく使えます。

BCPOS連動時の注意点

クラウド版は同時接続数が注意点ですので、BCPOSが20店舗の場合、データ連携するPCA会計ライセンス数も20 CALは必要なく、あまり重複しない時間にデータ連携をすれば、2~3CAL程度をBCPOSの連動用にライセンス契約いただくかたちで、運用も可能です。

但し、同じ時間にデータ連携を行うならば、ライセンス数もそれなりに必要ですので実際のライセンス数はPCAの営業の方と相談して下さい。

■クラウド版



各クライアントPCにPCA会計がインストールされており、PCA社の管理するDBサーバーに接続して利用します。